



し ぜんさいがいがい じ
2 自然災害時

おおゆき ごうせつ

2-3 大雪・豪雪

さむ ちいき とく ほくりく とうほく にほんかいがわ ほっかいどうちほう がつ がつ ゆき つ とし
寒い地域、特に北陸から東北の日本海側と北海道地方は、12月～3月に雪が積ります。年によっては
いじょう ゆき ごうせつ もくぞう かおく お じ こ お
5メートル以上もの雪がふる「豪雪」になり、木造の家屋が押しつぶされる事故も起こっています。

おおゆき み まも

(1) 大雪から身を守ろう

ほくりく とうほく にほんかいがわ ほっかいどう ゆきぐに せいかつ ばあい ゆき たいさく にちじょうてき ひつよう
北陸や東北の日本海側、北海道といった「雪国」で生活する場合は、雪への対策が日常的に必要と
がいしゆつ さい くつ は りょうて つか じょうたい ある てんとう き
なります。外出をする際は、すべりにくい靴を履き、できるだけ両手が使える状態で歩き、転倒に気をつけ
ましょう。

じよせつ おこな たいせつ おおゆき しぼうじこ おお やね ゆきお ちゆう てん
除雪は、こまめに 行うことが大切です。ただし、大雪による死亡事故の多くは、屋根の雪下ろし中の転
らくじこ ゆきお ばあい いのちづな すべ ど こてい てんらくぼうし そち ひとり
落事故です。雪下ろしをする場合は命綱、滑り止め、はしごの固定など転落防止措置をとり、なるべく一人
おこな いえ しゆうへん じよせつ さぎようじ やね お ゆき じゆうぶんちゆう
では行わないようにしましょう。また、家の周辺の除雪作業時には、屋根から落ちてくる雪にも十分注
い
意しましょう。

ゆきみち うんてん

(2) 雪道での運転

ゆきみち うんてん こ うんてん い か
雪道では、なるべく運転しないに越したことはありません。どうしても運転しなければならないときは、以下の
てん ちゆうい
点に注意しましょう。

うんてん そうさ おこな きゆうはっしん きゆう きん
1. 運転のポイントは、アクセル、ブレーキ、ハンドル操作をゆっくり 行うことです。急発進、急ブレーキは禁
もつ
物です。

ひろ つうこうりょう おお みち えら
2. 広くて通行量の多い道を選びましょう。

なが うんてん ばあい てんけん
3. 長く運転する場合は、ガソリンスタンドなどでバッテリーを点検してもらいましょう。

ゆきみち ていばん くどうりん ほん そうちやく たいへん きけん
4. 雪道ではスタッドレスタイヤが定番となっていますが、駆動輪のみ 2本だけ装着すると、大変危険です。
そうちやく さい りん そうちやく しよう
スタッドレスタイヤを装着する際には、かならず 4輪とも装着するようにしてください。タイヤチェーンを使用す
ばあい くどうりん そうちやく げんそく
る場合は駆動輪に装着することが原則です。